

タッチパネル PC

**LT-H0315B シリーズ
ユーザーズマニュアル**

Logitech

目次

取り扱い上のご注意	3
廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意	8
ごあいさつ	9
本体使用上のご注意	10
1. 各部の名称と役割	12
2. 基本操作	16
3. 目的に応じて設定を変更する	22
4. アプリケーションを使用する	32
5. 仕様	42

取り扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。
必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

動作環境温度

- ・本製品は以下の温度条件下でご使用ください。
動作環境温度（ACアダプタ接続時）：0℃～40℃（湿度 20%～70% ただし結露しないこと）
保存環境温度：-10℃～50℃（湿度 10%～90%）

表示について

- ・この「取り扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解しながら本文をお読みください。



危険

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある項目です。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

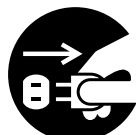
この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かの注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

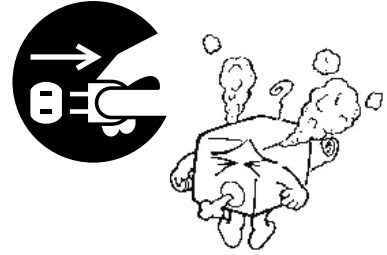


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークはACアダプタのプラグをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

● 万一、異常が発生した時。

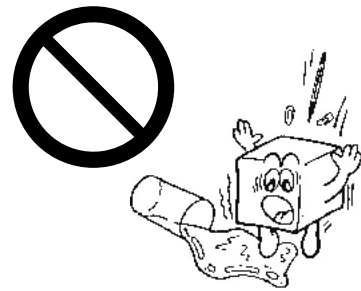
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて弊社テクニカルサポートにご相談ください。



● 異物を入れない。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り弊社テクニカルサポートにご相談ください。



● 表示された電源で使用する。

ACアダプタは必ず AC100V のコンセントに接続してください。



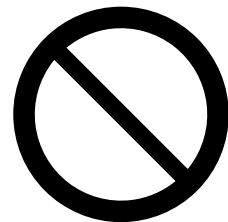
● ACアダプタを大切に。

ACアダプタは破損しないよう十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被覆が破れて感電や火災の原因となります。



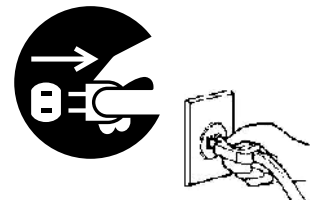
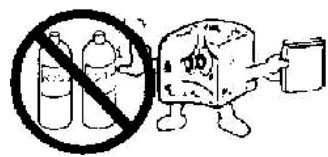
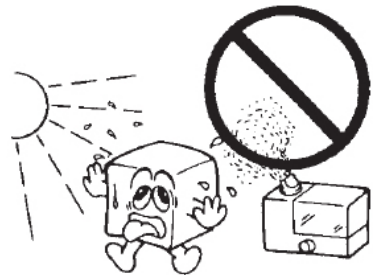
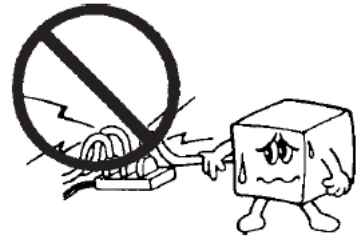
● 使用中は本体やアダプタ・コードに長時間触れて使用しない。

やけどや低温やけどの原因となります。



⚠ 注意

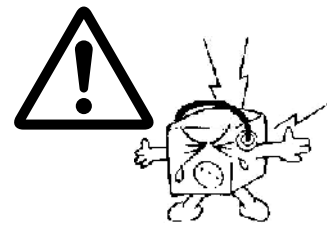
- ACアダプタはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルクリックの使用は火災の原因となります。
- ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。
- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用や保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。
- 本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いておいてください。



- 本製品を使用して、サウンドを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害が発生する場合があります。特にヘッドフォンを使用する場合は、必ず最初にヘッドフォンを耳から離れた状態で音量を確認してください。

- 本製品には、有寿命品が含まれております。コンデンサ、ACアダプタ等の経時による劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加、感度低下、機能低下など）生じた場合は、保証期間でも有償修理とさせていただきます。

- 継続してご使用になる場合には、定期的なデータのバックアップ及びメンテナンス（有寿命品の交換、清掃）を行ってください。



■ 電波に関する注意事項

この機器の仕様周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただき、混乱回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事態が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
- 4 法令により、無線 LAN の 5GHz 帯の 5.3GHz 帯を屋外で使用することは禁止されています。5.2GHz 帯は条件付で屋外使用が可能です。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。

この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

V C C I - A

廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

- ご使用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。
- 本製品を廃棄する際、内蔵ストレージに記録されたお客様のデータが再使用され、データが流出してしまうことがあります。
- 内蔵ストレージに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。
内蔵ストレージ上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。また、内蔵ストレージ上のソフトウェアを消去することなく本製品を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書では製品の設定接続方法、機能や仕様等についてのご説明をいたします。ご使用前に必ずご一読ください。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することを禁止させていただきます。
- ② 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル サポートまでご連絡願います。
- ③ 本書に記載されている機種名やソフトウェアのバージョンは本書作成時の情報です。最新情報については、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。
- ④ 本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容は、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
- ⑤ 本製品に保存したデータについては、理由を問わず一切の保証はいたしかねます。誤操作、落雷などの自然災害、経年劣化や不慮の事故等による製品故障に備え、重要なデータはあらかじめバックアップ（データの複製）をお願いします。
- ⑥ 本製品の仕様はお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑦ 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- ⑧ 本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関して弊社ではいかなる責任も負いかねます。また弊社では海外使用に関するサービス・サポートは一切行っておりません。
- ⑨ 本製品を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、弊社ではいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ窓口

技術的なお問い合わせ（テクニカルサポート）、修理受付窓口に関しては、製品添付の保証書に記載されています。

本体使用上のご注意

- ・ 動作温度範囲内であっても、急激な温度変化にさらすと故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・ ACアダプタは必ず付属品をお使いください。付属品以外を使用しますと故障の原因になります。
- ・ オプション品の取付や本体の固定でネジを使用する際は、マニュアルに記載のネジ径で、ネジ穴深さを超えない長さのネジを使用してください。ネジ穴深さを超えるネジを使用するとネジが本体内に突き抜け、破損する可能性があります。十分にご注意ください。
- ・ オプション品の取付や本体の固定でネジを使用する際は、マニュアルに記載の推奨トルク値で締め付けてください。締め付トルクが弱い場合は本体の脱落の可能性があります。また、締め付トルクが強すぎる場合は本体を破損する可能性があります。十分にご注意ください。

マニュアル中の表示について

本機を使用するにあたり役に立つ情報の提供や、ハードウェアの破損、故障の可能性の警告のため、次の「メモ」、「重要」、「注意」の3つの記載が本マニュアルでは使用されています。



メモ

役に立つ情報を記載しています。



重要

知っておいていただきたい重要な情報を記載しています。

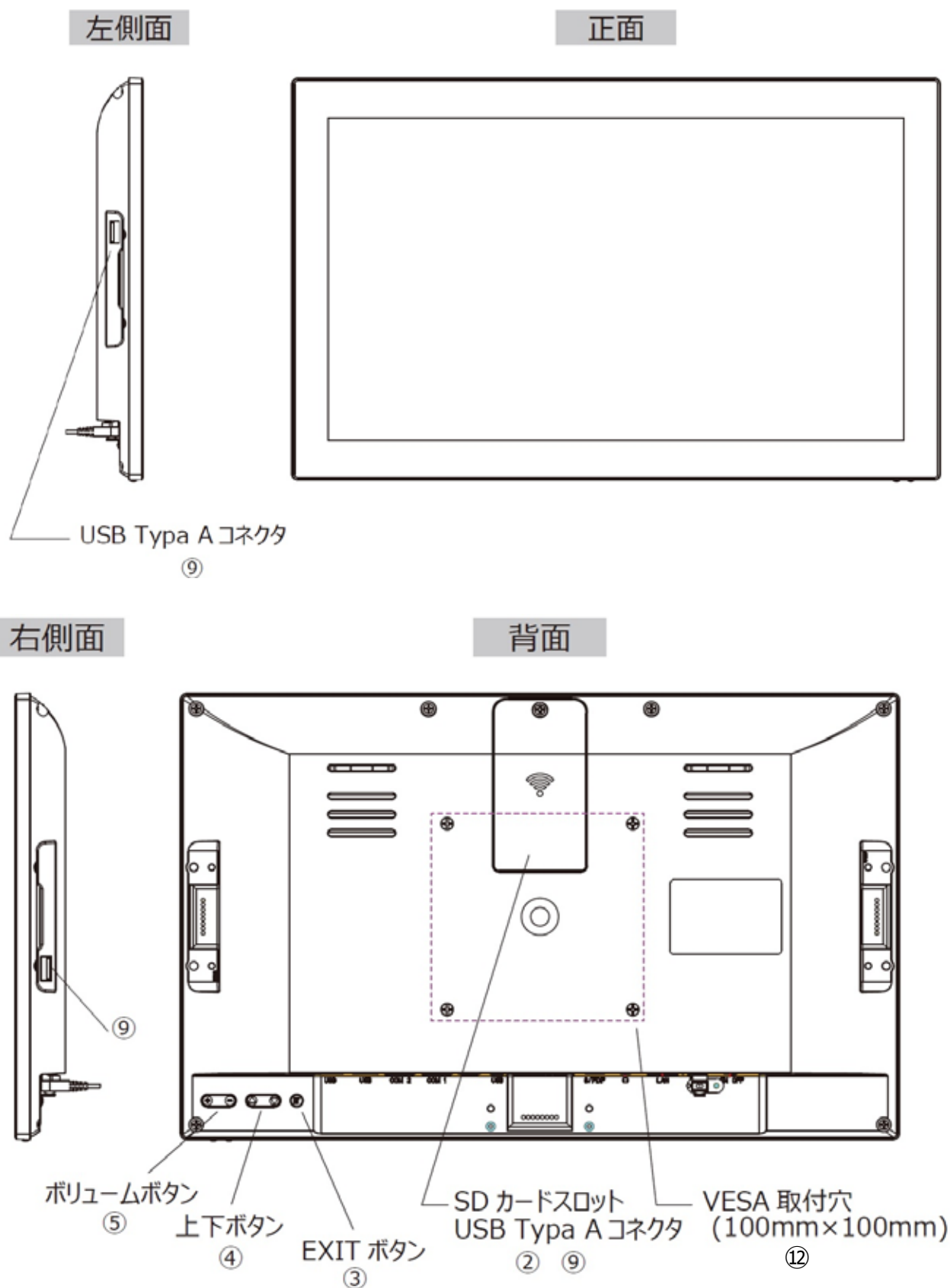


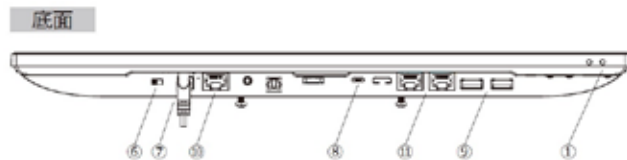
注意

ハードウェアの破損、故障の可能性があることや、問題を回避する方法を説明しています。

1. 各部の名称と役割

外観仕様





番号	名前	説明
①	電源ランプ	電源 ON で青色ランプが点灯、電源 OFF で消灯
②	SD カードスロット	SD/SDHC (最大 32GB) のお SD カードを装着します。
③	EXIT ボタン	BACK ボタンの役割を行います。
④	上下ボタン	メニュー操作の Up、Down を行います。
⑤	ボリュームボタン	音量の調節を行います。
⑥	電源スイッチ	製品の電源を ON/OFF します。
⑦	電源コネクタ	専用 AC アダプタを接続します。
⑧	USB micro-B コネクタ	USB2.0 準拠、PC 等と接続できます。
⑨	USB Type-A コネクタ	USB2.0 準拠、USB デバイスが接続できます。
⑩	LAN コネクタ	1000BASE-TX 準拠、ネットワークに接続します。
⑪	COM ポート	RS232 対応デバイスと通信させることができます。
⑫	VESA 取付穴	100mm × 100mm 対応、M4 ネジ使用、ネジ深さ 8.5mm、推奨トルク値 : 0.59N・m

画面の説明

画面の操作に使う、「Status bar」、「Navigation bar」、「クイック設定パネル」について説明します。次に、通知の確認方法を説明します。

「Status bar」、「Navigation bar」、「クイック設定パネル」

Status bar

画面送り (←)、画面内の検索 (🔍)

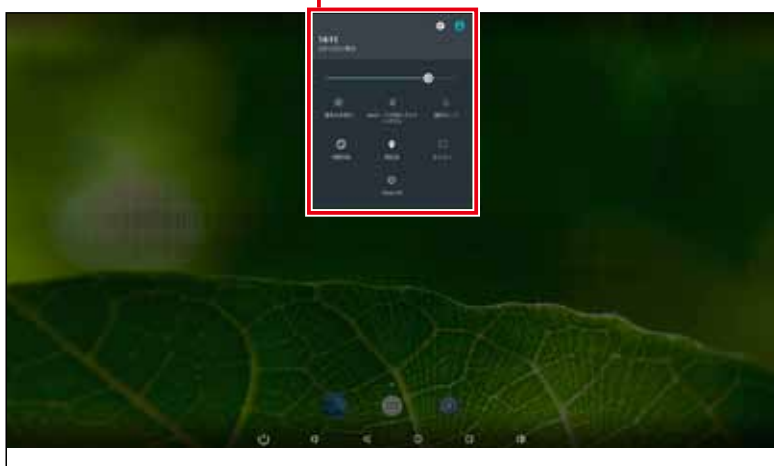


「電源の ON/OFF、再起動」(p. 16)
スクリーンショット (p. 23)

Navigation bar

クイック設定パネル

設定 (⚙️)、各種機能の ON / OFF

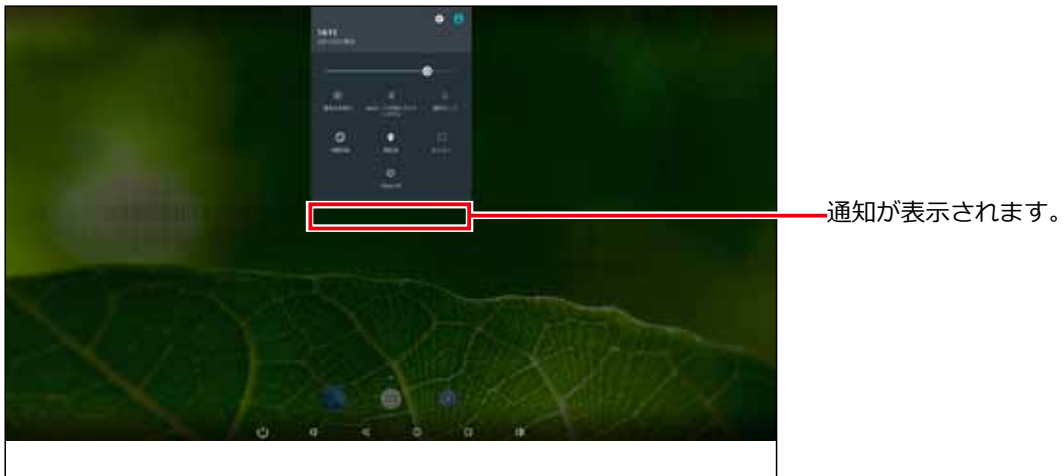


メモ

「Status bar」、「Navigation bar」、「クイック設定パネル」を非表示にする方法は、「Hide Status Bar 機能」(p. 29)を参照してください。

通知を確認する

1. 画面上部を下向きにスライドする
クイック設定パネルが表示されます。
2. クイック設定パネルの下部に表示される「通知」を確認する



通知がない場合は表示されません。



メモ

クイック設定パネルの「通知を非表示」をタップすると、通知が非表示になります。

2. 基本操作

電源の ON/OFF、再起動

本機は専用の AC アダプタと接続することによって動作します。本機の電源 ON / OFF、Reboot(再起動)は次の手順で行います。

電源を入れる【電源 ON】

1. 電源スイッチを ON の位置に切り替える
電源ランプが点灯し、起動画面が表示されます。

電源を切る【シャットダウン】

電源を切るには 2 種類の方法があります。

■ 画面操作で電源を切る場合

1. Navigation bar の「電源ボタン」をタップする
メッセージウインドウが表示されます。
2. 「電源を切る」をタップする



シャットダウンが実行され、画面と電源ランプが消灯します。

3. 電源スイッチを OFF の位置に切り替える

■ EXIT ボタンで電源を切る場合

1. EXIT ボタンを 5 秒以上長押しする
メッセージウインドウが表示されます。
2. 「電源を切る」をタップする



シャットダウンが実行され、画面と電源ランプが消灯します。

3. 電源スイッチを OFF の位置に切り替える



注意

シャットダウンが完了する前に本機からアダプタを抜かないでください。故障する恐れがあります。

再起動する【Reboot】

再起動するには 2 種類の方法があります。

■ 画面操作で再起動する場合

1. Navigation bar の「電源ボタン」をタップする
メッセージウインドウが表示されます。
2. 「再起動」をタップする



再起動が実行されます。画面が暗くなった後ですぐに起動画面が表示されます。

■ EXIT ボタンで再起動する場合

1. EXIT ボタンを 5 秒以上長押しする
メッセージウインドウが表示されます。
2. 「再起動」をタップする



再起動が実行されます。画面が暗くなった後ですぐに起動画面が表示されます。



注意

再起動実行中に本機からアダプタを抜かないでください。故障する恐れがあります。

出荷時の状態に戻す

内部ストレージの全データを消去し、出荷時の状態にリセットします。

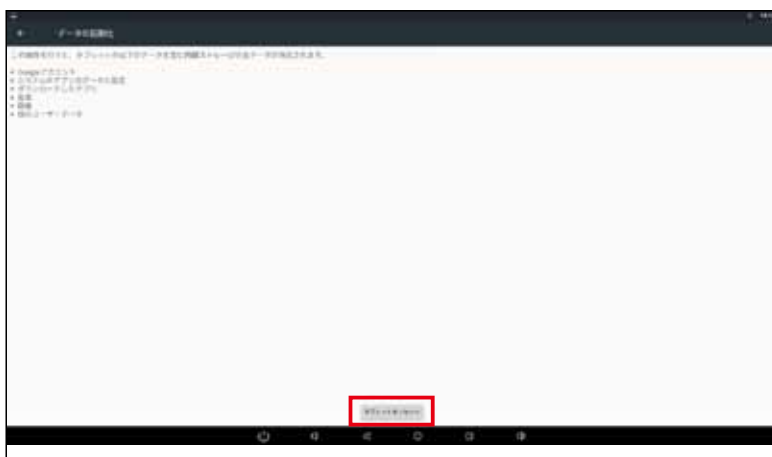
タブレットのリセット【データの初期化】



注意

システムやアプリのデータと設定、ダウンロードしたアプリ、音楽、画像、他のユーザーデータを含む内部ストレージの全データが消去されます。バックアップが必要なデータはあらかじめUSB デバイスや SD カードに保存してください。

1. 「設定」をタップする
2. 「バックアップとリセット」をタップする
3. 「データの初期化」をタップする
4. 「タブレットをリセット」をタップする



5. 「すべて消去」をタップする

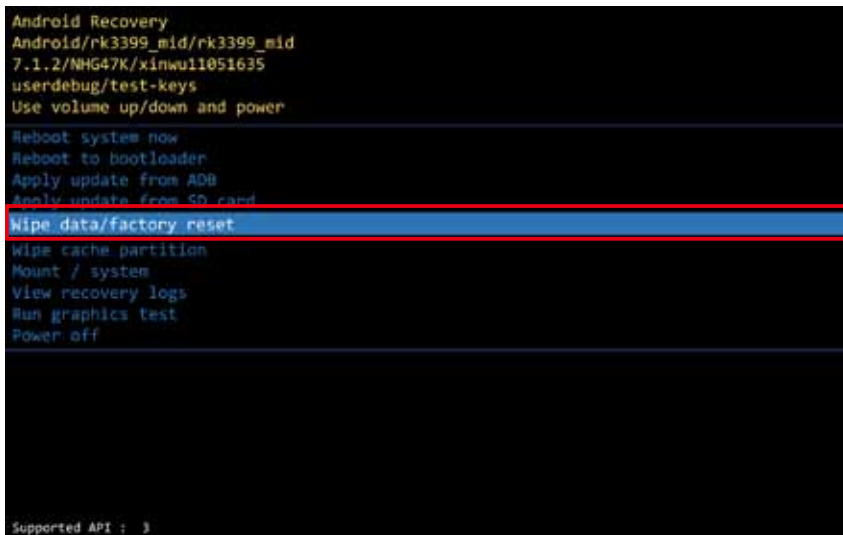


出荷時設定にリセットされ、再起動します。

タブレットのリセット【データの初期化】

端末の設定アプリを開くことができない場合は、電源スイッチとボリュームボタンを使用して出荷時の設定にリセットすることができます。

1. 本体背面下のボリュームボタン (+) を押しながら電源スイッチを ON に切り替え、本機を起動する
10 秒程度長押しすると Android Recovery の画面が表示されます。
2. 「Wipe data/factory reset」を選択した状態で EXIT ボタンを 3 秒程度長押しする



メモ

本体天面のどのボタンを押しても選択箇所を移動できます。

メッセージ画面が表示されます。

3. 「Yes」を選択した状態で EXIT ボタンを 3 秒程度長押しする



再び Android Recovery の画面が表示されます。

4. 「Reboot system now」を選択した状態で EXIT ボタンを 3 秒程度長押しする

```
Android Recovery
Android/rk3399_mid/rk3399_mid
7.1.2/NHG47K/xinwu11051635
userdebug/test-keys
Use volume up/down and power

Reboot system now
Reboot to bootloader
Apply update from ADB
Apply update from SD card
Wipe data/factory reset
Wipe cache partition
Mount / system
View recovery logs
Run graphics test
Power off

Supported API : 3

-- Wiping data
Formatting /data...
Formatting /cache...
Data wipe complete.
```

出荷時設定にリセットされ、再起動します。

3. 目的に応じて設定を変更する

スリープ状態から復帰する方法を設定する

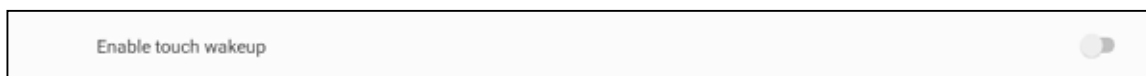
スリープ状態から復帰する方法を選択できます。設定は次の手順で行います。



メモ

出荷時のデフォルト設定では本機天面の EXIT ボタンでスリープモードから復帰します。

1. 「設定」をタップする
2. 「ディスプレイ」をタップする
3. 「Enable touch wakeup」をタップする



切り替えバーがスライドし、設定が変わります。

切り替えバー	バーの色	復帰する方法
	緑	画面タッチで復帰
	グレー	EXIT ボタンで復帰

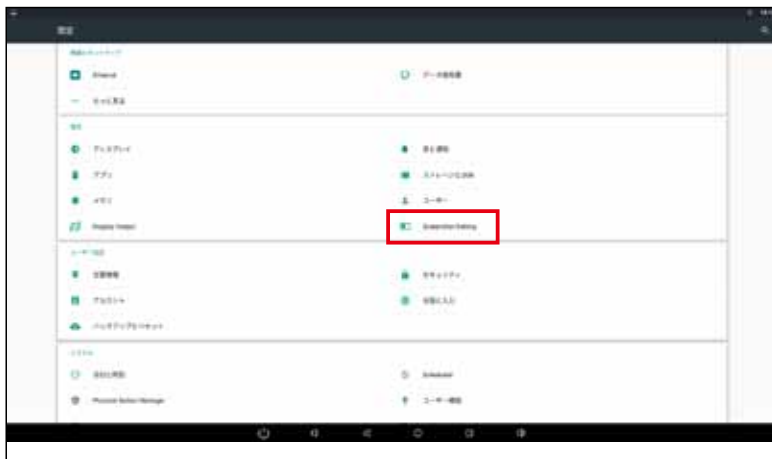
画面をキャプチャする【Screenshot】

「Screenshot」を使うとタブレットの画面領域全体を画像として保存できます。

画面をキャプチャするには2種類の方法があります。

■「Screenshot 設定」を有効にする

1. 「設定」をタップする
2. 「Screenshot」をタップする



3. 「Show the screenshot button in the statusbar」のチェックボックスをタップする
画面の左下にボタン (📷) が表示されます。



— Screenshot ボタン

画面の左下のボタン (📷) をタップすると、画面領域全体が PNG 形式で保存されます。

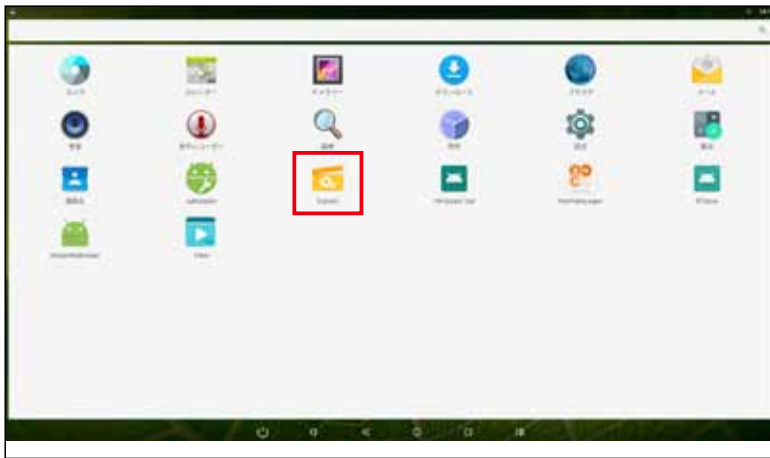


メモ

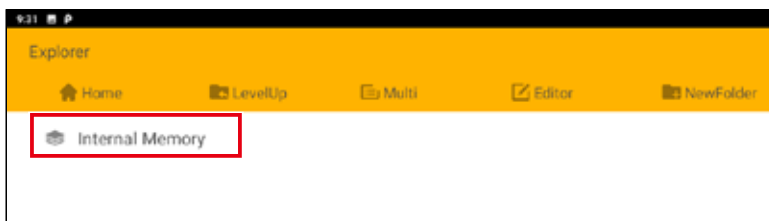
「Screenshot 設定」を無効にするには、「Show the screenshot button in the statusbar」をタップして切り替えバーをスライドさせてください。

保存したキャプチャ画像を確認する

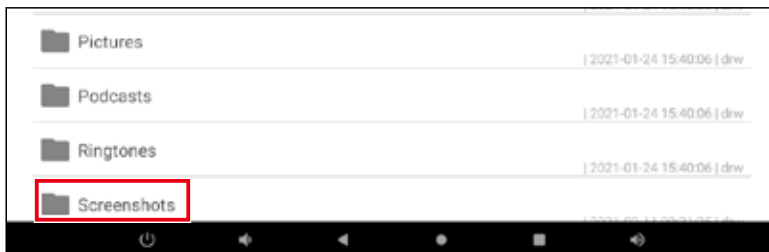
1. ランチャーアイコンをタップする
ランチャー画面が表示されます。
2. 「Explorer」をタップする



3. 「Internal Memory」フォルダをタップする



4. 「Screenshots」フォルダをタップする



保存したキャプチャ画像の一覧が表示されます。



メモ

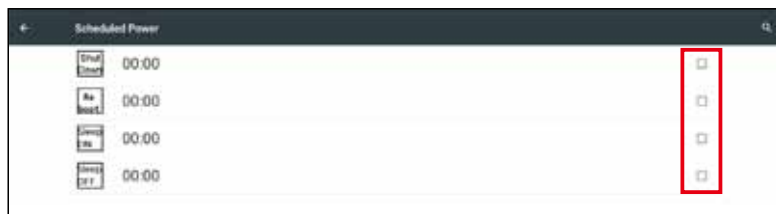
- ・データは「Internal Flash/Screenshots/」に保存されます。
- ・画像データは「Screenshot_yyyymmdd (年月日)_hhmmss (時分秒).png」の名前で保存されます。


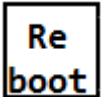
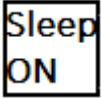
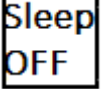
時刻を指定して本機をコントロールする【Schedule 機能】

指定した時刻に本機をシャットダウン、再起動、スリープモードの ON / OFF させることができます。時刻や繰り返しの設定は次の手順で行います。

動作を選択する【Schedule 機能】

1. 「設定」をタップする
2. 「Schedule」をタップする
3. 設定したい動作のチェックボックスをタップする





アイコン	概要
	指定した時刻にシャットダウンします
	指定した時刻に再起動します
	指定した時刻にスリープモードに切り替わります
	指定した時刻にスリープモードから復帰します

動作の時刻を設定する【Time】

1. 設定したい動作のアイコンをタップする
2. 「Time」 をタップする
3. 設定したい時刻をタップする

午前の場合は円の外側（1～12）、午後の場合は円の内側（00～23）の数字をタップします。

設定画面	設定
	時（1～12、00～23）
	分（00～59）

たとえば、20:30 に設定したときは次のようになります。



4. 「OK」 をタップする



注意

「Sleep ON」と「Sleep OFF」を同時刻に設定することはできません。エラーメッセージが表示されますので、時刻の設定をやり直してください。



メモ

「Sleep OFF」で設定した時刻よりも前にスリープ状態から復帰するにはEXITボタンを押します。画面タッチで復帰する方法は、「スリープ状態から復帰する方法を設定する」(p.22)を参照してください。

動作の繰り返しを設定する【Repeat】

1. 「Repeat」 をタップする
2. 動作を繰り返す曜日を選択し、「OK」 をタップする
複数の曜日を選択することができます。

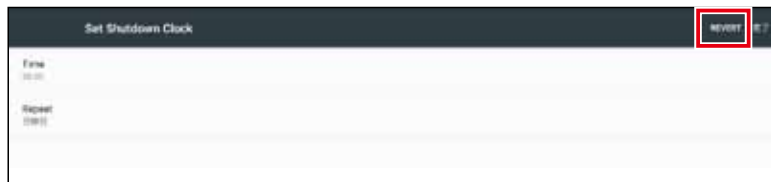


曜日を選択していない場合は「Never」と表示されます。

3. 画面右上の「DONE」 をタップする

時刻と繰り返しの設定をリセットする

1. 画面右上の「REVERT」 をタップする



設定されていた動作と時刻の設定がリセットされます。

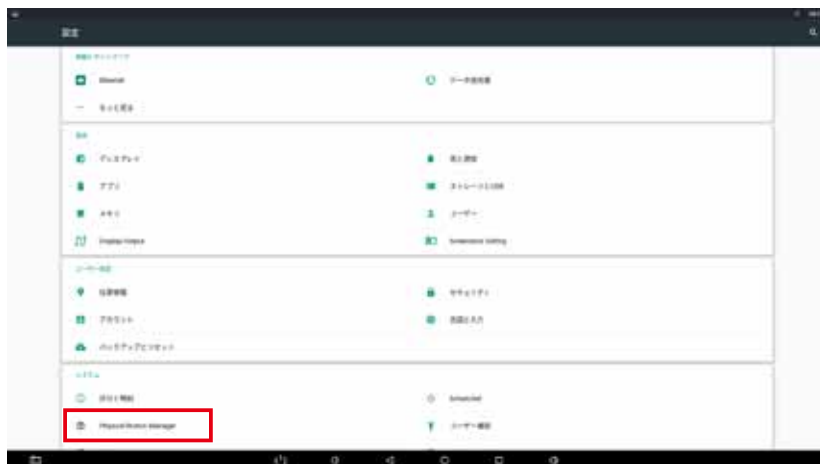


ユーザーのボタン操作を無効にする【Physical Buttons 設定】

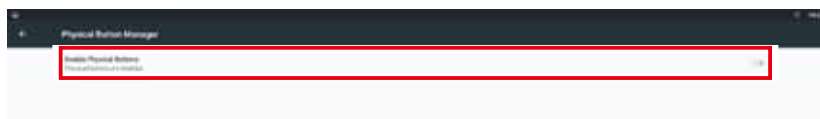
「Physical Button Manager 設定」を無効にすると、本機天面の EXIT ボタン、上下ボタン、ボリュームボタンの操作を無効にできます。「Physical Button Manager 設定」を無効にするには次の手順で設定します。

「Physical Button Manager 設定」を無効にする

1. 「設定」をタップする
2. 「Physical Button Manager」をタップする



3. 「Enable Physical Buttons」をタップする



切り替えバーが左にスライドし、「Physical Button Manager 設定」が無効になります。

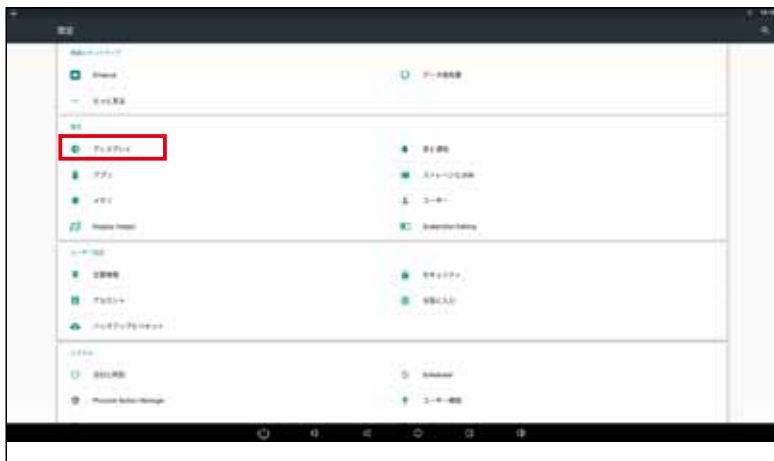
切り替えバー	バーの色	Physical Button Manager 設定
	グレー	無効 (ボタン操作無効)
	緑	有効 (ボタン操作有効)

フルスクリーンモードを有効にする【Hide Status Bar 機能】

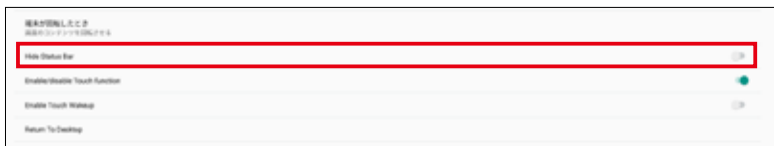
「Hide Status Bar 機能」を有効にすると、システムバー（Status bar、Navigation bar、クイック設定パネル）が非表示になり、フルスクリーンモードになります。「Hide Status Bar 機能」を有効にするには、次の手順で設定します。

「Hide Status Bar 機能」を有効にする

1. 「設定」をタップする
2. 「ディスプレイ」をタップする



3. 「詳細設定」をタップする
4. 「Hide Status Bar」をタップする



切り替えバーが右にスライドし、「Hide Status Bar 機能」が有効になります。

切り替えバー	バーの色	Hide Status Bar 機能
	緑	有効（システムバー非表示）
	グレー	無効（システムバー表示）



メモ

- ・「Hide Status Bar 機能」が有効のときは EXIT ボタンを押して前の画面に戻ります。
- ・「Return To Desktop」をタップするとホーム画面に戻ります。



画面の向き（縦画面・横画面）を設定する【画面固定の設定】

設定によって、画面の向きを縦画面・横画面に固定することができます。切り替えは次の手順で設定します。

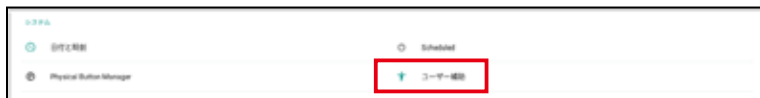
画面の向き（縦画面・横画面）を設定する



メモ

出荷時のデフォルト設定では本機の傾きに合わせて画面が自動回転します。

1. 「設定」をタップする
2. 「ユーザー補助」をタップする



3. 「画面の自動回転」をタップする



切り替えバーが左にスライドし、画面の自動回転が固定（ロック）されます。

切り替えバー	バーの色	画面の自動回転
	グレー	画面固定
	緑	自動回転

画面の自動回転が固定（ロック）された状態では、本機を傾けても画面は回転しません。

固定したときの画面の向きを設定する



メモ

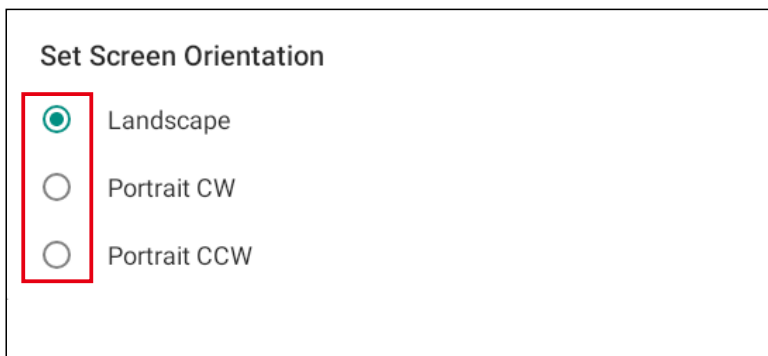
出荷時のデフォルト設定は「横画面 (Landscape)」です。

1. 「設定」をタップする
2. 「ユーザー補助」をタップする
3. 「Set Screen Orientation」をタップする



Set Screen Orientation メニューが表示されます。

4. 固定したい画面の向きを指定する

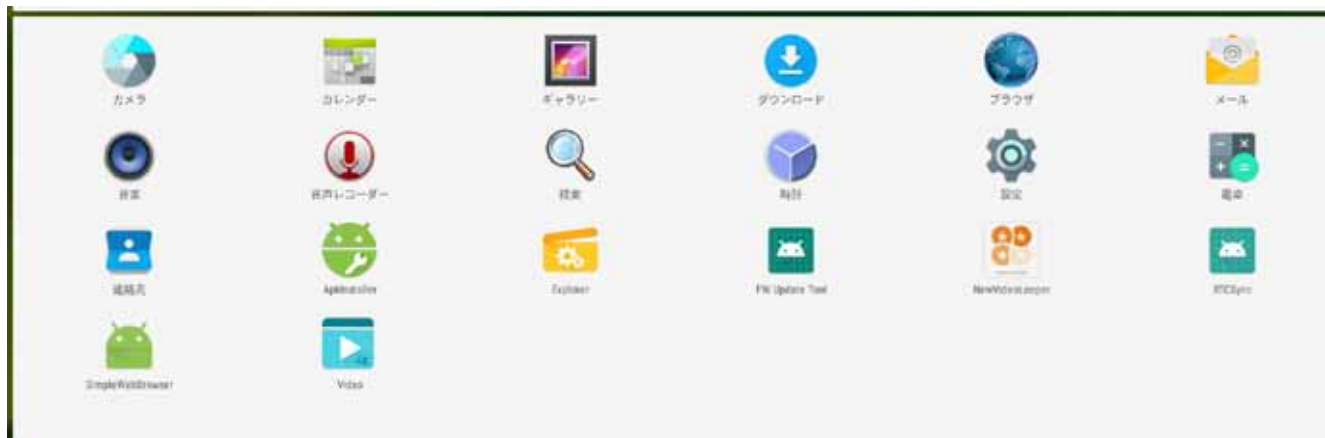


項目	画面の向き
Landscape	横画面
Portrait CW	縦画面 (右回転)
Portrait CCW	縦画面 (左回転)

4. アプリケーションを使用する

インストールされているアプリケーション

本製品は Android 6.0.1 を搭載しています。次のアプリケーションが出荷時にインストールされています。



分類	ソフトウェア名称	バージョン	概要	参照
標準 アプリ	カメラ	2.0.002	静止画や動画を撮影します	
	カレンダー	6.0.1	カレンダーを使用して、スケジュール管理ができます	
	ギャラリー	1.1.40032-20140424	静止画や動画の閲覧／整理ができます	
	ダウンロード	6.0.1	ダウンロードしたファイルを表示します	
	ブラウザ	6.0.1	ブラウザを使用してウェブページを閲覧できます	
	メール	6.0.1	電子メールを送受信します	
	音楽	6.0.1	音声データを再生します	
	音声レコーダー	6.0.1	音声データを録音します	
	検索	6.0.1	ウェブ、端末内の検索をします	
	時計	6.0.1	日時表示、及び、アラームの設定ができます	
	設定	6.0.1	端末の各種設定を行います	
	電卓	6.0.1	数値演算、関数演算ができます	
	連絡先	1.7.31	電話番号、メールアドレス等を管理します	
追加 アプリ	ApkInstaller	20160830_6.0	APK ファイルのインストールができます	p. 33
	Explorer	20190619	ファイルの管理ができます	
	Lightning	4.4.2	ブラウザを使用してウェブページを閲覧できます	
	NewVideoLooper	2.2.8_nb_for9.0	動画再生を全画面で表示します	p. 36
	SimpleWebBrowser	1.9.1	Web ブラウザを全画面で表示します	p. 39
	Video	2.3-20190108-8.0	簡単な動画編集を行います	

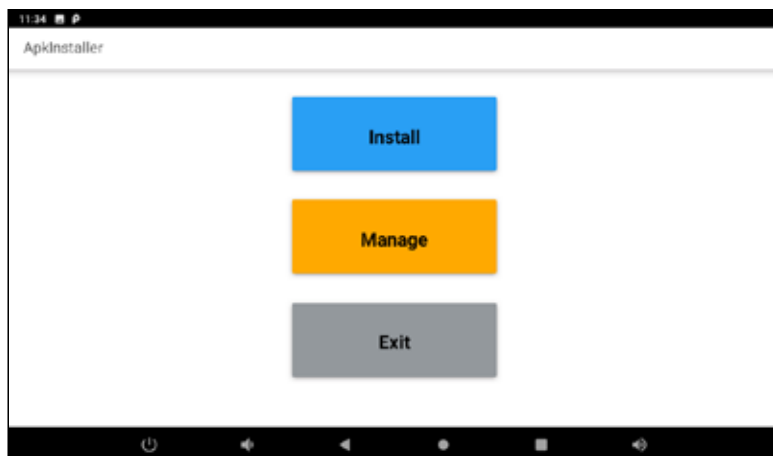
アプリケーションを追加する【ApkInstaller】

USB メモリまたは SD カード経由でアプリケーションを追加します。

USB メモリまたは SD カードに保存したアプリケーションを追加する

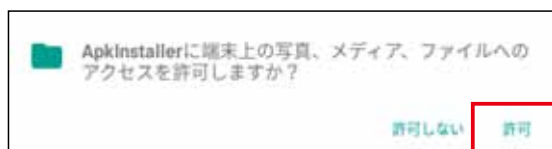
1. USB メモリまたは SD カードをセットする
2. ランチャーアイコンをタップする
3. 「ApkInstaller」をタップする

ApkInstaller アプリが起動します。

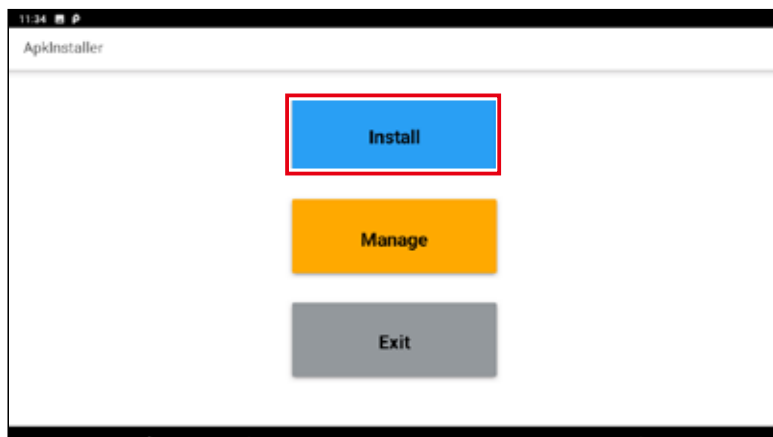


メモ

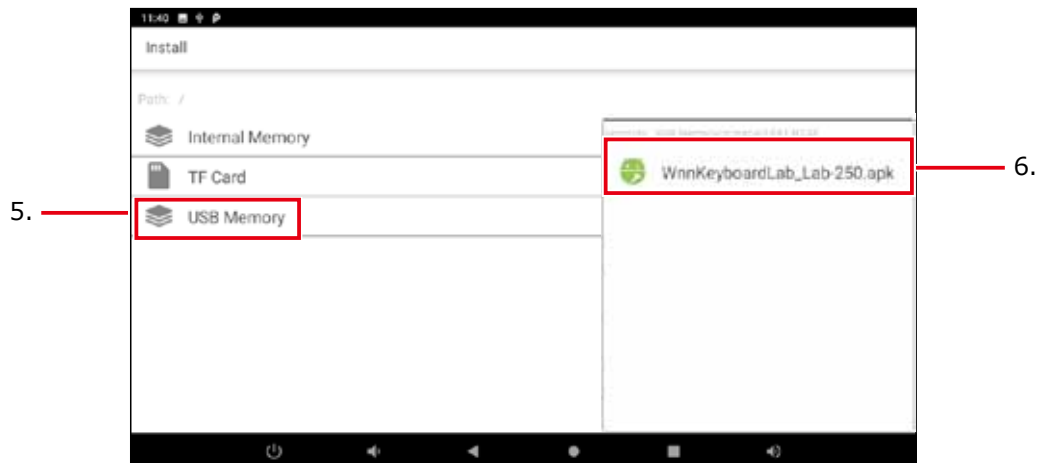
次のメッセージが表示された場合は「許可」をタップしてください。



4. 「Install」をタップする



5. アプリケーションのデータ（.apk 形式）の格納場所をタップする
6. インストールするアプリケーションをタップする



メッセージ画面が表示されます。

7. 「インストール」 をタップする



アプリケーションが追加されます。

8. 「完了」または「開く」をタップする



「開く」をタップするとそのまま追加したアプリケーションが起動します。



動画コンテンツを全画面で連続再生する【NewVideoLooper】

「NewVideoLooper」は動画コンテンツもしくは画像ファイルを全画面で連続再生するためのアプリケーションです。SDカードに動画コンテンツもしくは画像ファイルをコピーすることで本機の起動と同時に再生させることができます。

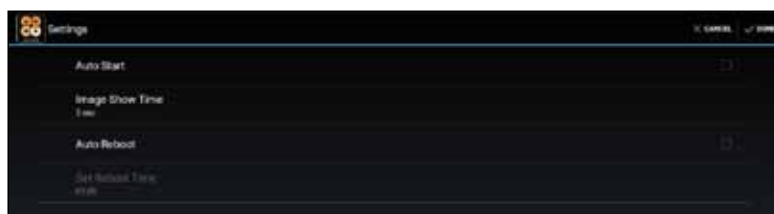
「NewVideoLooper」の設定の準備

1. SDカードのルートディレクトリに「CONTENT」フォルダを作成する
2. 「CONTENT」フォルダに動画ファイルもしくは画像ファイルをコピーする
3. SDカードを本体に装着する

「NewVideoLooper」の設定

1. ランチャーアイコンをタップする
2. 「NewVideoLooper」をタップする

設定画面が表示されます。

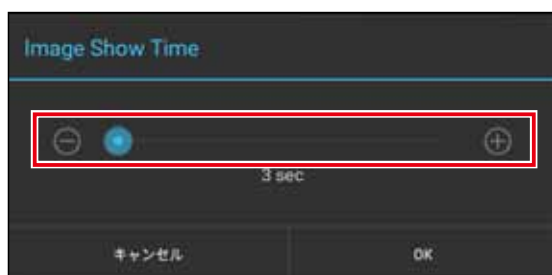


項目	概要	デフォルト
Auto Start	電源 ON (OS 起動) と同時に動画再生を開始します	無効
Image Show Time	静止画像の表示時間を設定します	3 sec
Auto Reboot	定時刻に本体を再起動します	無効
Set Reboot Time	再起動する時刻を設定します	無効



メモ

「Image Show Time」で設定できる値は3秒～120秒です。



3. 設定画面右上の をタップする

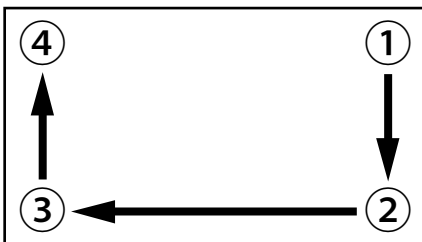
CONTENT フォルダのコンテンツが全画面で再生されます。



動画コンテンツ再生イメージ

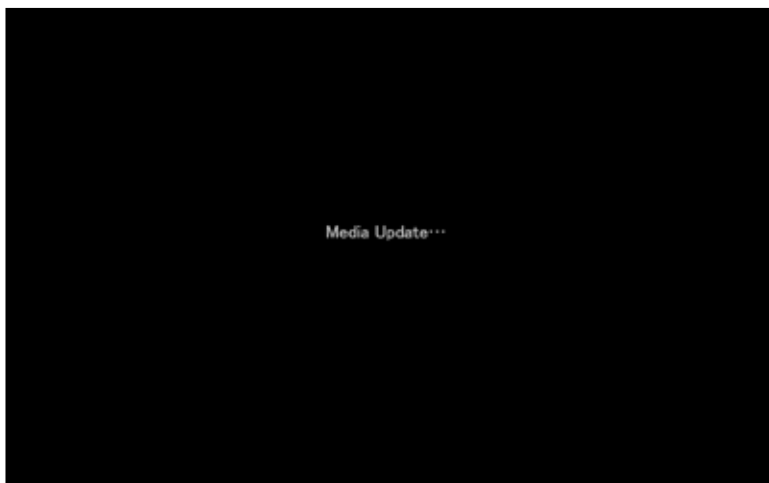
NewVideoLooper を終了する

NewVideoLooper を終了するときは、画面を下図の順にマウスをドラッグします。それぞれ画面の角に沿ってゆっくりドラッグしてください。

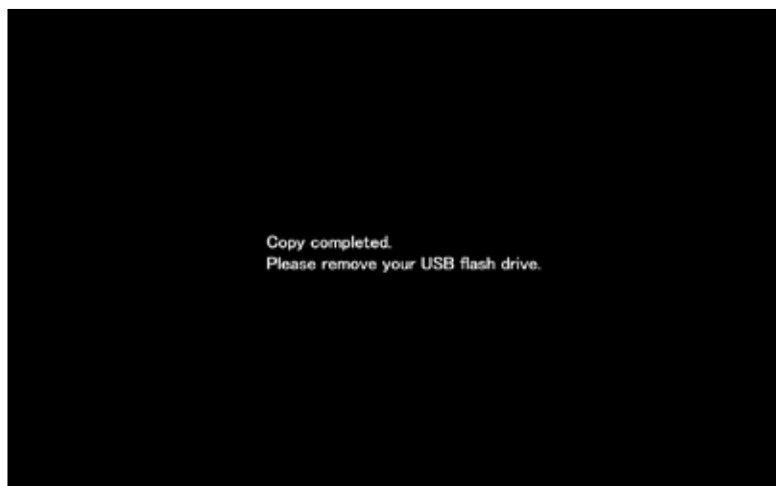


動画コンテンツを更新する

1. "updatemedia=yes" を記述したテキストファイル「userinfo.txt」を作成する
2. USB メモリのルートディレクトリに「userinfo.txt」と最新の動画ファイルまたは画像ファイルをコピーする
3. USB メモリを本機に装着し、「NewVideoLooper」を起動する
USB メモリに保存したファイルがカードにコピーされます。



動画ファイルまたは画像ファイルの更新が完了します。



4. USB メモリを外す

Web ブラウザを全画面表示する【SimpleWebBrowser】

「SimpleWebBrowser」は Web ブラウザを全画面で表示するアプリケーションです。表示する URL を指定して、電源 ON (OS の起動) と同時に Web ブラウザを表示できます。

「SimpleWebBrowser」の設定

1. ランチャーアイコンをタップする
2. 「SimpleWebBrowser」をタップする



メモ

出荷時はデフォルトで次のページが表示されるように設定されています。

<https://pc.logitech.co.jp/>

3. ディスプレイ左上の角を 8 秒以上長押しする



重要

ディスプレイに対して垂直に力が加わるように長押ししてください。センサーが正しく反応しない場合があります。



URL 入力フォーム、「Settings」、「Edit Security」が表示されます。

項目	概要
URL 入力フォーム	Web ブラウザを立ち上げたときに表示したい Web サイトの URL を設定します
Settings	SimpleWebBrowser の各種設定を行います
Edit Security	SimpleWebBrowser の各種設定を行うためのパスワードを管理します

■ URL の指定

Web ブラウザを立ち上げたときに表示したい Web サイトの URL をフォームに入力します。

■ Settings



項目	概要	デフォルト
Enable Schedule Time	指定した時刻に再起動します	有効
Set Reboot Time	再起動する時刻を設定します	02 :00
Enable Auto Refresh Web	ページの自動更新を有効にします	有効
Auto Refresh Time(Seconds)	自動更新する時間を秒単位で指定します	30
Enable Auto Start	電源 ON (OS 起動) と同時に、Web ブラウザを表示します	無効
Exit	Web ブラウザのページに戻ります	-

■ Edit Security



メモ

出荷時はパスワードが表示されていません。

1. 「Password」 をタップする



2. 設定したいパスワードを入力する
3. 確認のためにもう一度同じパスワードを入力する



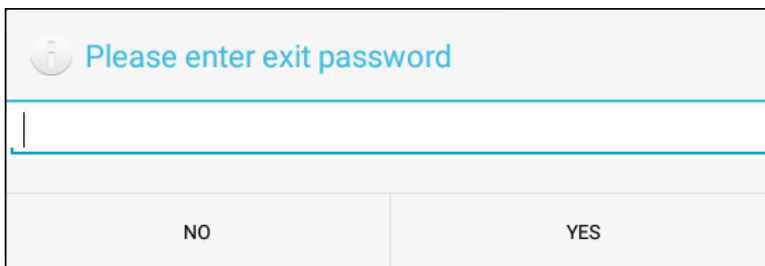
4. 「Submit」 をタップする

SimpleWebBrowser の各種設定を行うためのパスワードが登録されます。



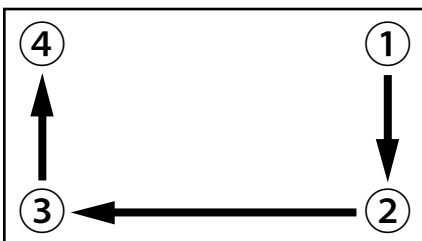
メモ

「SimpleWebBrowser」の設定を行うとき・アプリを終了するときにパスワードの入力が求められます。



SimpleWebBrowser を終了する

SimpleWebBrowser を終了するときは、画面を下図の順にマウスをドラッグします。それぞれ画面の角に沿ってゆっくりドラッグしてください。



メモ

SimpleWebBrowser を起動すると、自動的に「Hide Status Bar 機能」(p. 29) が有効になり、システムバー (Status bar、Navigation bar、クイック設定パネル) が非表示になります。前画面に戻るには EXIT ボタンを押します。

5. 仕様

製品仕様

項目		LT-H0315B
ディスプレイ		画面サイズ：15.6 インチワイド (16:9) IPS 液晶パネル 解像度：1920 × 1080 (Full-HD) 輝度：320cd/m2 視野角：上 85°、下 85°、左右各 85°
OS		Android 6.0.1
CPU		Rockchip RK3288, Quad Core
メインメモリ		2GB DDR3 SDRAM
ストレージ容量		16GB eMMC
インターフェース	USB	USB2.0 (Type-A) × 5 USB2.0 (micro-B) × 1 *OTG 対応
	HDMI	—
	サウンド関連	ヘッドセットジャック × 1
	シリアル	COM (RJ45) × 2 *RS-232
通信機能	有線 LAN	10/100/1000Mbps (RJ45 × 1)
	無線 LAN	IEEE802.11a/b/g/n/ac (2.4GHz/5GHz) セキュリティ： WPA2-PSK (AES)、WPA-PSK (TKIP/AES)、WEP (64/128bit) IEEE 802.1X (EAP-TLS, EAP-TTLS, PEAP, PWD)
	Bluetooth	Bluetooth 4.2 (Class2)
メモリーカードスロット		SD/SDHC カードスロット × 1 (最大 32GB)
カメラ		—
内蔵マイク		コンデンサマイク × 1
センサー		加速度センサー
バッテリー		—
電源ユニット (AC アダプタ)		入力：AC100-240V 50/60Hz、出力：DC12V 2A
消費電力		約 16W (最大負荷時)
動作環境	動作時	温度：0℃ ~40℃、湿度：20%~70%
	非動作時	温度：-10℃ ~50℃、湿度：10%~90%
取付寸法		100 × 100mm
外形寸法 (本体のみ)		387.3 × 240.3 × 26.9mm
質量 (本体のみ)		965g
付属品		AC アダプタ

対応メディアフォーマット

種類	ファイル形式
音声	AAC、MP3、WMA、WAVE
静止画	JPEG、GIF、PNG、BMP
動画	MPEG4、H.264/AVC

